

				科目コード	150
科目名	患者・家族の心理 (Patient & Family Clinical Psychology)			開講学科	臨床検査学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)	履修時期	4 年次前期
担当教員	中平 洋子、高田 智世、相原 ひろみ			科目区分	専門基礎科目
授業概要	様々な局面にある患者・家族の心理について、文献や当事者の語り、患者疑似体験から学ぶ。これらの学びをもとに、検査場面での対応についてロールプレイを通して研鑽する。				
授業目標	臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶ意義が理解できる。 様々な局面にある患者・家族の心理が理解できる。 患者・家族の心理を踏まえ、検査場面における適切な対応を修得できる。				

授業内容

回	項 目	内 容	担当者
1	臨床検査と患者の心理	検査時の患者心理と検査結果のもつ意味 これからの臨床検査技師に求められるもの	中平洋子 高田智世
2	臨床検査技師と患者・家族の心理	臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶことの 意味	高田智世
3	家族の心理	家族とは何か 患者にとっての家族、家族にとっての患者	中平洋子
4	患者・家族の体験	患者・家族が医療従事者に何を望んでいるの か、当事者の声から聴く（教育協力者）	中平洋子 高田智世
5	様々な局面における患者・家族の心理	グループワークの成果発表	中平洋子 高田智世
6	検査時に必要な介助技術 患者疑似体験	車椅子-ベット間移乗・ベット上での起きあがり、 車椅子操作の演習 車椅子体験	相原ひろみ 中平洋子
7	患者疑似体験	妊婦体験・高齢者疑似体験	中平洋子 高田智世 相原ひろみ
8	検査時の患者への対応の実際	患者・家族にわかる説明と安心をもたらす対応 （採血場面・心電図場面等のロールプレイ）	中平洋子 高田智世 相原ひろみ
成績評価方法		文献探索グループワーク・発表（40点）、演習事前レポート（10点）、 総括レポート（50点）	
教科書		なし	
参考図書		岡堂哲雄「病気と人間行動」（中央法規出版） 友安直子「プロに学ぶ患者接遇」（医学通信社）	
備 考		教育協力者の都合により授業進行が一部変更になる可能性があります。 授業外に、様々な局面における患者・家族の心理に関する文献検索（グループ課題）と演習事前レポート（個人課題）が出ます。	